

# Botany (2025) 参加報告書

2025 年 08 月 29 日

池田啓研究室 博士後期課程二年 甲田龍太郎

博士・修士課程学生のための国際研究集会渡航助成を受け、2025 年 7 月 26 日から 30 日までアメリカ・カリフォルニア州パームスプリングスで開催された「Botany 2025」に参加いたしました。本学会は、植物の進化・生態・分類をはじめとする幅広い分野の研究発表が行われる国際的な場であり、世界各国から多くの研究者が集まりました。

私は“Demographic origin of a high latitude lineage in *Phyllodoce* (Ericaceae) and its implication on adaptive divergence”という題目で口頭発表を行いました。本研究では、周北極植物の起源を過去の集団動態の解析から明らかにし、さらに周北極系統に特異的にみられる自然選択を受けた適応候補遺伝子について報告しました。全ゲノムシーケンスという、海外においても研究例の少ない先駆的な手法を用いた発表であったため、多くの研究者から関心を集め、発表後には活発な議論や意見交換を行うことができました。これにより、研究の方向性をさらに発展させるための貴重な知見を得ることができました。

また、学会の 4 日間を通して幅広い分野の研究発表を聴講し、積極的に質疑応答に参加することで、自身の研究テーマに直接関わる知見に加え、今後の研究に応用可能な新しいアイデアを得ることができました。さらに、複数の研究者と直接議論する機会を持ち、新たな共同研究の可能性について話し合うなど、今後の国際的な研究活動の基盤となる人的ネットワークを築くことができました。

今回、このような貴重な経験を得られたのは、国際研究集会渡航助成によるご支援のおかげです。ここに深く感謝申し上げます。



図 1. 学会会場の様子